

| | |
|------|---------------------------|
| タイトル | 総索引・論文題目一覧・規定 |
| 著者 | |
| 引用 | 工学研究：北海学園大学大学院工学研究科紀要(11) |
| 発行日 | 2011-09-30 |

北海学園大学大学院工学研究科紀要 工学研究 既刊号 総索引

■第1号 (2001年9月28日発行)

研究解説

- ・社会的価値観の変遷と都市形態の推移 五十嵐日出夫・鈴木聡士…… 4
- ・環境騒音の評価に関する2つの国際共同研究 佐藤哲身…… 15

研究報告

・研究論文

- ・鋼製門型ラーメン橋脚の耐震システムに関する研究 杉本博之・村部剛史…… 23
- ・道路橋の耐震設計における上下地震動の影響 当麻庄司・村上健志…… 33
- ・雪寒地道路舗装における設計凍結深さの算定に関する研究 久保 宏・上田真一…… 43
- ・自律分散システムの局所ルールに基づく力学的構造の形態形成 佐々木康彦…… 51
- ・鉄道駅における「駅らしさ」に関する基礎的研究 上浦正樹・竹澤晋一・臼井幸彦…… 57
- ・エネルギー利用システムのエクセルギー解析に関する研究 谷口 博・手塚純一・野口 徹・鶴飼隆好…… 67
- ・Improvement in durability of concrete by special chemical admixture Masashi SUGIYAMA…… 73
- ・コンクリート養生用新温熱シートの住宅基礎コンクリートへの適用研究 杉山 雅・佐々木良滋…… 83
- ・低温環境下におけるコンクリートの収縮性状に関する基礎的研究 杉山 雅・河合康晴…… 91
- ・マイクロ波加熱養生法を応用したコンクリート強度の早期判定に関する基礎的研究 杉山 雅・佐藤 豪…… 97
- ・多重プログラム型人工生命 Tierra によるプログラムの進化 菊地慶仁・桃内佳雄・清水裕輔……101
- ・両眼立体視刺激における事象関連電位：等価電流双極子解析による検討 齋藤正明・山ノ井高洋・大西真一・山崎敏正・村上新治……111
- ・ウェーブレット解析における Mallat アルゴリズムの行列表現 高井信勝……117
- ・遺伝的アルゴリズムを用いた帰納的学習による音声対話処理手法の性能評価 木村泰知・荒木健治・桃内佳雄・栃内香次……125

・研究ノート

- 2次方程式，連分数，フィボナッチ数列そして特殊関数 吉田文夫……133

■第2号 (2002年9月27日発行)

研究解説

- ・情報革命の先駆者：トーマス・エジソン — 現代的意義 — 朝倉利光…… 3
- ・回折現象とアポデゼーション — 回顧録 — 朝倉利光…… 9
- ・道路・鉄道で用いられる粒状材料の剛性に関する研究 上浦正樹・皆木孝英…… 17

研究報告

・研究論文

- ・意識距離の短縮効果を考慮した歩行空間の創出に関する研究 米谷一心・鈴木聡士・五十嵐日出夫…… 25
- ・AHPにおける相対位置評価法の提案と都市環境の評価に関する研究 盛 亜也子・鈴木聡士・五十嵐日出夫…… 33
- ・北海道における「道の駅」の魅力度向上方策に関する研究 小川直仁・鈴木聡士・五十嵐日出夫…… 43
- ・縮約階層分析理論の構築と都市・交通環境の評価に関する研究 鈴木聡士・五十嵐日出夫…… 51
- ・廃タイヤの弾性舗装材料への利用に関する研究 武市 靖・氏家伸孝…… 59
- ・デジタル画像処理による冬期路面状態の判別に関する研究 武市 靖・平河内雄也…… 69
- ・橋梁点検及び北海道型簡易 BMS の実橋への適用について 杉本博之・後藤 晃…… 81
- ・ウェーブレットによる軌道狂い波形解析に関する基礎的研究 上浦正樹・児玉健太郎・植木基晴……111
- ・コンクリートの凍結融解作用に及ぼす乾燥・吸水の影響に関する一実験 杉山 雅・鈴木康宏……119
- ・寒冷地における住宅換気システムの諸問題と対策に関する研究 佐々木博明・佐藤勝利……125
- ・異なる評定尺度で得られた鉄道騒音に対する社会反応の比較 佐藤哲身・根本昭宏……135
- ・アイヌ語・日本語機械翻訳のための基礎的研究 桃内佳雄・大友雄介・越前谷 博……143
- ・左右視野に提示された単語の脳での優位性 山ノ井高洋・大西真一・山崎敏正・Jean-Louis Vercher……153
- ・高強度非回折性スペックルの生成とその移動量計測への応用 魚住 純・敦賀智志……165
- ・デジタルホログラフィを用いる電子透かし技術の研究 三船雄都・高井信勝……173

■第 3 号 (2003 年 9 月 12 日発行)

研究解説

- ・ 発明発見の条件 — ホログラフィーの父デニス・ガボールの生涯にみる — 朝倉利光…… 3
- ・ 建築物設計用雪荷重評価に供するための屋根雪分布の測定と予測手法の開発に関する共同研究 桜井修次…… 15

研究報告

・研究論文

- ・ コンクリート充填鋼製ラーメン橋脚の最適耐震設計 杉本博之・佐々木利健…… 23
- ・ 空港舗装におけるプリスタリング現象とその対策工法に関する研究 久保 宏・金岡優樹…… 33
- ・ CFRP シートで下面補強された RC はりの曲げ挙動について 高橋義裕・丸山興治…… 41
- ・ 路面テクスチャの違いが凍結抑制効果に与える影響に関する検討 武市 靖・田近裕善…… 53
- ・ An effective method for the turnout maintenance using wavelet analysis Masaki Kamiura・Motoharu Ueki…… 65
- ・ 地盤連成を考慮した履歴構造系の地震時エネルギー応答特性に関する研究 佐々木康彦・川口靖範…… 71
- ・ 確率論的アプローチに基づく主成分解析法による被災地検出 串山 繁・篠塚正宣…… 79
- ・ アイヌ語-日本語間対訳語の自動獲得における再帰チェーンリンク型学習の有効性について
加藤大樹・越前谷博・荒木健治・桃内佳雄・枡内香次…… 89
- ・ 再帰チェーンリンク型学習を用いた口語的書き言葉文から敬語表現文への自動変換システム
中岡芳彰・越前谷博・荒木健治・桃内佳雄・枡内香次…… 97
- ・ 非回折性フラクタルビームの生成可能性について 魚住 純・三橋 亮……103
- ・ 奥行き認知と痴呆との関連について II 豊島 恒・山ノ井高洋・村上新治・池田 望・宮澤仁朗……111

■第 4 号 (2004 年 9 月 10 日発行)

研究解説

- ・ 廃棄タイヤの建設資材への再利用に関する研究 久保 宏…… 3
- ・ コンクリートを使用した超高層建築物の近年の発展 桑原隆司…… 13

研究報告

・研究論文

- ・ 軌道狂いと列車動揺の波形に対するウェーブレット解析の適用に関する基礎的研究 上浦正樹・植木基晴…… 23
- ・ 安定-不安定非線形格子における孤立波動解の挙動に関する研究 吉田文夫…… 31
- ・ RBF の利用による鋼製橋脚の最適耐震設計システムについて
杉本博之・名畑信宏・阿部淳一・荒川雅生・古川浩平・渡邊忠朋…… 35
- ・ 地中熱融雪システムの適用を考慮した歩道用タイル舗装の付着強度と力学的挙動に関する
実験的研究 武市 靖・荒木拓也…… 47
- ・ フレッシュコンクリートの単位水量を測定する各種測定法に関する研究 杉山 雅・白戸正宏…… 55
- ・ 視差の異なるランダムドットステレオグラム視覚刺激に対する脳内処理過程とその潜時の比較
豊島 恒・山ノ井高洋・山崎敏正・大西真一…… 63
- ・ Correlation and dimensional properties of clipped fractal speckle
Hideki Funamizu・Jun Uozumi・Yasumasa Tsukuda…… 71
- ・ 面散乱体による光散乱場の空間的位相分布のフラクタル性 魚住 純・小川忠伸…… 79

■第 5 号 (2005 年 10 月 1 日発行)

研究解説

- ・ 自律移動ロボットの自己位置認識 深谷健一…… 3

研究報告

・研究論文

- ・ Elastic Wave Measurement System Using FWD for Asphalt Pavement
Masaki Kamiura・Shingo Nakayama・Qinxi Dong…… 11
- ・ 履歴構造系の地震時エネルギー応答特性と杭基礎・地盤の連成効果 佐々木康彦…… 19
- ・ 北海道における GIS と Winter Index による路線別の道路雪氷管理の評価検証 武市 靖・植村正人…… 29
- ・ 道内自治体における『福祉のまちづくり条例』の制定状況に関する一考察と
整備基準の集約化について 須田邦昭・三浦孝宜…… 41
- ・ レーザポイント付き赤外線リモコンを用いた移動ロボットの動作指示とその応用
成田秀樹・赤坂健悟・坂口祐樹・深谷健一…… 51

- ・小型自律移動ロボット Khepera に搭載した CCD カメラ画像を用いた走行支援
豊島 恒・山ノ井高洋・藤原勇太・大西真一…… 57
- ・Singularity spectrum analysis of scattered laser light
Hideki Funamizu・Jun Uozumi…… 63
- ・4 面体 2 次要素およびスカイライン法を用いた有限要素法のプログラミング
およびシミュレーション
松崎博季・元木邦俊…… 73
- ・CENTER モデルによる日本語ゼロ代名詞解析に関する基礎的考察
桃内佳雄・柴田更紗…… 85
- ・研究資料
・超一様分布列の生成方法
申山 繁…… 93

■第 6 号 (2006 年 9 月 28 日発行)

研究報告

・研究論文

- ・曲げ荷重を受ける RC はりに対する CFRP シートの補強効果に関する実験的研究
高橋義裕・佐藤正務…… 3
- ・適合ベクターマシンのパラメータに関する基礎的考察
申山 繁…… 11
- ・日本語の敬語表現の脳内処理部位について
菅野道夫・山ノ井高洋…… 17
- ・加算結果に対する正解選択と近似選択時の時空間的脳活動推移
山ノ井高洋・藤原勇太・豊島 恒・大西真一・菅野道夫・サンシェーズ エリー…… 33
- ・手ジェスチャを用いた移動ロボットの直感的動作指示インタフェース
深谷健一・山田暁人・佐々木政年…… 39
- ・物語文章における省略に関する基礎的考察
桃内佳雄・柴田更紗…… 45

■第 7 号 (2007 年 9 月 28 日発行)

研究解説

- ・斥力相互作用する 1 次元格子の波動伝播の数値解析
吉田文夫…… 3

研究報告

・研究論文

- ・強震動を受ける履歴構造—杭基礎・地盤連成系の履歴吸収エネルギー分担率
佐々木康彦・高橋賢司…… 11
- ・IMPROVEMENT OF IN-SITU STIFFNESS MEASURING USING PORTABLE FWD
Masaki KAMIURA…… 21
- ・形状ベースパターンマッチングを利用する自律移動ロボットのビューベースド航法
深谷健一・鎌田誠一・菅原匡貴…… 29
- ・アイヌ語・日本語機械翻訳のための場所表現に関する基礎的考察
桃内佳雄・安曇恭徳…… 35
- ・右上前頭回からの脳波出力を用いたブレイン・マシン・インターフェースの基礎研究
山ノ井高洋・豊島 恒・大西真一・山崎敏正・菅野道夫…… 43
- ・FFT による 2 次元画像の非整数次微分処理 (I) — 1 次元導関数 —
魚住 純…… 49
- ・FFT による 2 次元画像の非整数次微分処理 (II) — 2 次元導関数 —
魚住 純…… 61

■第 8 号 (2008 年 9 月 28 日発行)

研究解説

- ・棒部材の構造安定問題 — 梁と柱と梁柱の違い —
当麻庄司…… 3
- ・風洞実験手法による建築物の屋根雪偏分布形状の推定について
桜井修次・阿部 修・城 攻…… 11

研究報告

・研究論文

- ・グルーピング系凍結抑制舗装の凍結抑制効果に関する研究
田中俊輔・武市 靖…… 19
- ・Exact Solutions of a Difference-Difference Nonlinear Equation with the mKdV Type Soliton
Fumio Yoshida・Kenji Seto …… 33
- ・手ジェスチャを用いた移動ロボットの直感的動作指示インタフェース (第 2 報)
深谷健一・渡部 敦・佐藤俊輔・斉藤大起…… 41
- ・Micro Robot Control by EEG on Mental Translation with Directional Symbols
Takahiro Yamanoi・Hisashi Toyoshima・Toshimasa Yamazaki・Michio Sugeno …… 47
- ・層指定検索ツールの開発
安曇恭徳・桃内佳雄…… 53
- ・多色光照射によるフラクタルスペckル — 計算機シミュレーション —
魚住 純…… 63

■第9号（2009年9月30日発行）

研究解説

- ・音声生成系の放射過程のモデルについて

元木邦俊…… 3

研究報告

・研究論文

- ・教育用「コンクリート構造物の温度・強度解析システム」の有効性の検討 桑原隆司・前田大輔・劉宏涛…… 15
- ・右上前頭回からの脳波出力を用いたブレイン・マシン・インターフェイスの基礎研究II
山ノ井高洋・森高篤司・高柳 浩・大西真一・山崎敏正・菅野道夫・野中秀俊…… 21
- ・非整数次微分を用いたアンシャープマスクによる画像鮮鋭化 魚住 純・泉 晴佳…… 27
- ・アイヌ語・日本語対訳データのための検索・ツールと解析ツールの開発と機械翻訳システムへの応用
安雲恭徳・桃内佳雄…… 37


■第10号（2010年9月30日発行）

研究報告

・研究論文

- ・CS分析を活用した札幌都心の質的満足度評価 鈴木聡士・沼田真吾…… 3
- ・屋根面の風圧分布特性に基づく建築物設計用屋根雪偏分布形状の推定 桜井修次・阿部 修・城 攻…… 9
- ・丘珠空港周辺の航空機騒音に対する社会反応 佐藤哲身・菅谷知定・横山隆介…… 15
- ・古蠟管からの画像工学的音声再生 魚住 純・前田尚範・吉田拓馬…… 23
- ・心的負荷が脳波律動に及ぼす影響 平田恵啓…… 33
- ・アイヌ語地名構成要素解析のための辞書と解析ツールの構成 桃内佳雄・小林亮介…… 39
- ・SPATIOTEMPORAL BRAIN ACTIVITIES DURING HIRAGANA RECOGNITION TASK
Hisashi Toyoshima・Takahiro Yamanoi・Toshimasa Yamazaki・Shin-ichi Ohnishi…… 51

大学院修了者と論文題目一覧

 博士（後期）課程

 修士課程

博士（後期）課程

2008年3月修了者

| | 論文題目 | 指導教授 |
|----------|---|-------|
| 建設工学専攻 | | |
| 阿部 淳一 | RBF ネットワークによる最適耐震設計と地震リスクを考慮した目標設計地震動強度算定に関する研究 | 杉本 博之 |
| 電子情報工学専攻 | | |
| 船水 英希 | Generation and analysis of speckle intensity distributions with fractal properties (フラクタル性を有するスペックル強度分布の生成と解析) | 魚住 純 |

2006年3月修了者

| | 論文題目 | 指導教授 |
|----------|--|-------|
| 電子情報工学専攻 | | |
| 豊島 恒 | 視覚刺激観察時および認知時における脳内高次情報処理過程のモデル化に関する研究 | 山ノ井高洋 |

2002年3月修了者

| | 論文題目 | 指導教授 |
|----------|---|--------|
| 建設工学専攻 | | |
| 鈴木 聡士 | 縮約階層分析理論の構築と都市・交通環境の評価に関する研究 | 五十嵐日出夫 |
| 渡邊 忠朋 | 鉄筋コンクリート構造物の耐震性能照査法と最適化手法を用いた耐震設計システムに関する研究 | 杉本 博之 |
| 電子情報工学専攻 | | |
| 齋藤 正明 | 両眼立体視・ファジィ計算における脳内高次処理機能に関する研究 | 山ノ井高洋 |

2000年3月修了者

| | 論文題目 | 指導教授 |
|----------|-------------------------------------|-------|
| 電子情報工学専攻 | | |
| 笹岡 久行 | 機械翻訳における帰納的学習を用いた辞書未登録の訳語推定手法に関する研究 | 桃内 佳雄 |

1999年3月修了者

| | 論文題目 | 指導教授 |
|--------|---------------------------|------|
| 建設工学専攻 | | |
| 手塚 純一 | 木質構造と室内環境に関する CAD システムの研究 | 谷口 博 |

1998年3月修了者

| | 論文題目 | 指導教授 |
|----------|---|-------|
| 建設工学専攻 | | |
| 田村 勇 | 寒冷地向けヒートポンプシステムに関する研究 | 谷口 博 |
| 電子情報工学専攻 | | |
| 高柳 浩 | 対象の特徴を考慮した画像認識の研究 | 山ノ井高洋 |
| 古澤 正三 | 三次元有限要素法を用いたヒト下腿骨内応力解析とそれによる人工膝関節脛骨コンポーネント形状の評価 | 山ノ井高洋 |

修士課程

2011年3月修了者

建設工学専攻（土木系） 猪股 賢大

指導教授 武市 靖

論文題目：グルーピング系凍結抑制舗装における凍結抑制材の工学的特性と現場適用性に関する研究

グルーピング系凍結抑制舗装は、グルーピング部に充填したゴム粒子結合材からなる凍結抑制材のたわみ特性と交通荷重との相乗効果によって舗装面に生成された氷板の剝離・破碎を目的とした舗装である。

本研究は、凍結抑制効果の発現に影響を与える凍結抑制材に注目して、舗装表面に氷板を作成した複合供試体の一軸圧縮試験、静的・動的載荷試験等を行い、その工学的特性を明らかにした。同

様に、氷板を作製した供試体の低温ホイールトラッキング試験（WTT）と繰返し走行試験を行い、路面露出率の推移と凍結抑制材部分の応力・ひずみとの関係について検討した。

低温 WTT 結果と繰返し走行試験結果の関係を明らかにすることにより、低温 WTT を用いてグルーピング系凍結抑制舗装の現場への適用性の検討が行えると考えられる。

建設工学専攻（土木系） 桑野 基史

指導教授 上浦 正樹

論文題目：静的載荷と動的載荷による地盤の挙動に関する研究

地盤の剛性評価では小型 FWD が平板載荷試験よりも機動性に優れているが、静的載荷の平板載荷と動的載荷の小型 FWD では土によって評価が異なっている。よって実務上では一般的な平板載荷に合わせるために小型 FWD の結果を代表的な土の換算係数 γ で補正している。しかし小型 FWD による様々な地盤の剛性評価のためには、換算係数を構成する要因を確定する必要がある。

本研究では側面にアクリル板を配置した土槽を用いて高速カメラによりアクリル板を通して静的載荷と動的載荷で発生する地盤の変化を可視化することとした。この結果、載荷条件によって異なる地盤の挙動は載荷板端部近くの側方流動と載荷による影響範囲に関係していることが明らかになった。

建設工学専攻（土木系） 沢江 和樹

指導教授 当麻 庄司

論文題目：振動台実験による骨組構造モデルの浮き上がり減振効果の検証

本研究の目的は、浮き上がり効果が4層骨組構造物モデルの振動性状にどのような影響を与えるかを振動台実験で検証することである。入力波は、Sweep 波および直下型地震である兵庫県南部地震波と長周期地震であるエルセントロ地震波を用いた。

実験の結果、兵庫県南部地震波の実験において、浮き上がりにより水平方向の応答加速度と各階柱

のひずみに大きな減少効果が見られた。しかし、鉛直方向の応答加速度は浮き上がりの落下時に底面が衝突するため、固定時よりも大きくなった。また、エルセントロ地震波の実験でも、ひずみで大きな減少効果が見られたが、水平加速度の減少は兵庫県南部地震より小さかった。

また、柱が損傷した状態での浮き上がり検証も行った。

建設工学専攻（建築系） 藤井 貴弥

指導教授 岡本 浩一

論文題目：恵庭農畜産物直売所「かのな（花野菜）」の成立過程と事業実態
—北海道における都市近郊農業の展開に関する事例研究—

戦後の時代背景を経て、今日の日本農業は経営

継続困難といわれている。農業従事者と消費者間

の意識距離が離れてしまっていることが問題視されている。①輸入農産物との価格差による買い取り価格の低下などから起こる収入不足，②農村から都市部への人口流出等による後継者不足，③農村の高齢化による労働力不足などが挙げられる。一方，1993年頃から各地の主要道路沿いに休憩所として道の駅が設置され，地域の農産物の直売コーナーが出店されたことから，農産物直売所の

存在がマスメディア等で取り上げられ，農産物の新たな販売手法として着目されるようになった。

これらを受け本研究では，①恵庭市農畜産物直売所「かのな（花野菜）」（以下「かのな」）を事例に，都市農村交流の望ましい形を考察し，②その事業実態を明らかにする。また，③他の地域の都市農村交流に参考となるものを作ることを目的としている。

建設工学専攻（建築系） 蔡 薇

指導教授 岡本 浩一

論文題目：ユニバーサル・デザインの視点からみた北京のまちに関する考察

—北京市と札幌市を事例とした現状比較を通じて—

社会進歩に基づいて，もっと優しい都市環境への要求が高まっている。本研究の目的は，バリアフリーからユニバーサル・デザインに配慮した中国北京のまちづくりのあり方を考察することである。

ユニバーサル・デザインの視点から北京市に実地調査，写真撮影，ヒアリングを行った。中国と日本のバリアフリーに関するまちづくり条例や法令を調べて，比較した。北京市ユニバーサル・デザインの建設の問題と不足を整理した後，札幌市

現有ユニバーサル・デザインのまちづくりと比較分析した。日本の良いユニバーサル・デザインのまちづくり例を探し，特徴を整理した。

以上より，中国にはバリアフリーやユニバーサル・デザインに関する条例，法律内容，指定項目が少ないこと，現有施設内の整備不足していること，また，日本の経験を参考にする時，中国の国情を考えなければならないことなどを明確にした。

電子情報工学専攻 坂尻 勇人

指導教授 元木 邦俊

論文題目：モード展開法を用いた声道モデルにおける損失の評価に関する研究

本論文では，粘性，熱伝導と緩和吸収による空気損失を考慮した声道モデルを提案し，提案モデルの音響特性について報告する。音声生成モデルの高度化のために，矩形音響管を用いた声道モデルに対しモード展開法により音場解析を行っている。従来のこの手法では音響管の壁は剛壁であるとし，声道内部は無損失であると仮定してモデル

化を行ってきた。従来モデルの声道伝達特性には高い周波数域で帯域幅の狭い極や零が多数発生していた。提案手法では，粘性，熱伝導と緩和吸収による空気損失を考慮した。その結果，無損失の場合に生じていた帯域幅の狭いピークは高次モードの遮断周波数付近では強く抑制された。

電子情報工学専攻 佐藤 高雄

指導教授 元木 邦俊

論文題目：母音発話時の皮膚振動による放射音声の特徴計測に関する研究

近年，声道の3次元形状モデルを用いた広い周波数帯域に渡る音響解析が行われている。一般的なモデルでは主に口唇と鼻孔の開口端からの放射音声を対象としているが，実際の音声は頬や頸部等の皮膚振動に伴い開口端以外からも放射されていることが知られている。より高精度な音声生成モデルの構築を行うためには壁振動（皮膚振動）による放射音声の影響も考慮すべきものと考えら

れる。本研究では，皮膚振動による放射音声，及び音源である皮膚振動の測定を行った。

この結果，母音発話時の頸部皮膚振動による放射音声は高周波数域において大きな減衰が見られるが，その音圧レベルは大きく，モデルの高精度化において重要な要素であることが示された。また音源である皮膚振動の直接測定において，小型の加速度センサーやレーザー変位計の使用が有効

であることを示した。

電子情報工学専攻 三上 優

指導教授 桃内 佳雄

論文題目：格フレーム辞書の自動構築に向けた多言語間名詞句対の自動抽出手法について

格フレームは機械翻訳において、重要な言語知識の一つとして知られている。本研究は、多言語間機械翻訳システムの構築に向け、多言語間の格フレーム対を自動的に獲得することを目的としている。本論文ではその第一段階として、解析ツールが豊富な英語を中間言語とした、三言語間対訳コーパスより名詞句対を自動的に抽出する学習手

法を提案する。本手法では、省略可能情報を用いた部分対応学習と帰納的学習に基づき名詞句ルールを自動獲得する。そして、その名詞句ルールを用いることで名詞句対を効率よく自動抽出する。日本語－英語－スペイン語間対訳コーパスを用いた性能評価実験の結果、提案手法の有効性が確認された。

2010年3月修了者

| 論文題目 | | 指導教授 |
|---------------|----------------------------------|-------|
| 建設工学専攻 | | |
| 齋藤 善之 | 劣化進行の不確実性を考慮した橋梁の最適補修計画に関する研究 | 杉本 博之 |
| 千葉 和広 | 不飽和土の凍上過程における吸排水速度に関する実験的研究 | 小野 丘 |
| 前田 淳哉 | 道路橋単純合成桁のベンチマークによる諸外国の設計比較に関する研究 | 当麻 庄司 |
| 菅谷 知定 | 丘珠空港周辺の航空機騒音に対する社会反応構造の分析 | 佐藤 哲身 |

2009年3月修了者

| 論文題目 | | 指導教授 |
|-----------------|---|-------|
| 建設工学専攻 | | |
| 阿部 雅寿 | 小型 FWD と平板載荷装置における地盤剛性評価の比較に関する研究 | 上浦 正樹 |
| 一間 恵伍 | SVM による公共建造物の総合的健全度評価に関する基礎的研究 | 杉本 博之 |
| 佐藤 直樹 | たたみ込み理論の RBF ネットワークへの導入による復旧性を考慮した最適耐震設計の手法に関する研究 | 杉本 博之 |
| 田中 俊輔 | グルーピング系凍結抑制舗装の工学的性質と凍結抑制効果に関する研究 | 武市 靖 |
| 藤田 匠 | 寒冷地における住宅の暖房・給湯用エネルギー低減に関する研究 | 佐々木博明 |
| 横山 隆介 | 丘珠空港周辺における航空機騒音の住民への影響に関する研究 | 佐藤 哲身 |
| 電子情報工学専攻 | | |
| 安曇 恭徳 | アイヌ語・日本語対訳データのための検索・解析ツールの開発と機械翻訳システムへの応用 | 桃内 佳雄 |

2008年3月修了者

| 論文題目 | | 指導教授 |
|---------------|--|-------|
| 建設工学専攻 | | |
| 嶋田 泰丈 | 道路交通法の改正による路上駐停車行動の変化に関する調査研究 | 堂柿 栄輔 |
| 高橋 賢司 | 履歴構造物—杭基礎・地盤連成系の強震時エネルギー応答特性に関する研究 | 佐々木康彦 |
| 高橋 朋也 | 複合型凍結抑制舗装の工学的性質と路面凍結抑制効果に関する研究 | 武市 靖 |
| 横井 潤 | 水文確率分布モデルの適合度と信頼性の評価指標に関する研究 | 許士 達広 |
| 渡邊 良崇 | 鉄道における軌道狂いの復元波形に関する研究 | 上浦 正樹 |
| 伊藤 新治 | 風洞実験手法による屋根雪の偏分布形状に及ぼす屋根面の風圧分布特性の影響に関する基礎的研究 | 桜井 修次 |
| 蝦名裕次郎 | 寒地住宅における土中採熱ヒートポンプ温水暖房の COP 向上に関する研究 | 佐々木博明 |
| 大山 真弘 | 水セメント比の異なるコンクリートの凍結融解抵抗性に及ぼす中性化条件の影響に関する実験研究 | 杉山 雅 |
| 前田 大輔 | 寒中コンクリートの品質予測・管理方法の現状調査とパソコンによる解析システムの有効性の検討 | 桑原 隆司 |

2007年3月修了者

| 論文題目 | | 指導教授 |
|---------------|-------------------------------------|-------|
| 建設工学専攻 | | |
| 大熊 佑治 | Wavelet 解析を用いた鉄道における波形解析とその応用に関する研究 | 上浦 正樹 |
| 原田 将希 | 空港滑走路のコンクリート舗装におけるポップアウト現象に関する研究 | 久保 宏 |
| 酒井 陽介 | パーソナルスペースの視点による駐車位置選定行動の分析 | 堂柿 栄輔 |

電子情報工学専攻

| | | |
|-------|--|-------|
| 坂口 祐樹 | レーザポインタ付き赤外線リモコンを用いた移動ロボットの動作指示とその応用 一人間追尾とレーザポインタ照射点への移動 | 深谷 健一 |
| 柴田 更紗 | 日本語文章におけるゼロ代名詞解析のための CENTER アルゴリズムに関する研究 | 桃内 佳雄 |
| 藤原 勇太 | 加算結果に対する正解選択と近似選択時の脳内処理部位の時空間的推移に関する研究 | 山ノ井高洋 |

2006年3月修了者

論文題目

指導教授

建設工学専攻

| | | |
|-------|---|-------|
| 植村 正人 | 北海道における GIS を用いた Winter Index による路線別の道路雪氷管理評価 | 武市 靖 |
| 佐藤 正務 | 曲げ荷重を受ける RC 梁に対する CFRP シートの補強効果に関する実験的研究 | 高橋 義裕 |
| 松田 謙治 | ゴムロード舗装の工学的性質と路面凍結抑制効果に関する研究 | 武市 靖 |
| 山田 俊則 | 森林小流域における主要溶存成分の物質収支と流出機構に関する基礎的研究 | 余湖 典昭 |
| 高橋 哲也 | 都市の音環境の空間的変動評価に関する研究 | 佐藤 哲身 |
| 山口 雄大 | 道内建築家の現状分析と住空間モデルの提案 | 米田 浩志 |

2005年3月修了者

論文題目

指導教授

建設工学専攻

| | | |
|-------|--|-------|
| 阿部 淳一 | RBF による設計許容領域の境界曲面近似と RC 橋脚の最適耐震設計への応用に関する研究 | 杉本 博之 |
| 阿部 裕介 | 岩石および岩石モデルの凍上性と物理的性質に関する研究 | 小野 丘 |
| 伊藤 孝浩 | 多孔質弾性舗装の工学的特性と凍結抑制効果に関する研究 | 武市 靖 |
| 工藤 好騎 | 寒冷地舗装の凍上被害とその対策に関する研究 | 久保 宏 |
| 中山 真吾 | 動的載荷による地盤応答に関する基礎的研究 | 上浦 正樹 |
| 三浦 孝宜 | 道内自治体における『福祉のまちづくり条例』の制定状況に関する一考察と整備基準の集約化について | 須田 邦昭 |
| 和田 義弘 | 寒冷地住宅における空気熱源ヒートポンプ暖房に関する基礎的研究 | 佐々木博明 |

電子情報工学専攻

| | | |
|-------|---------------------------------|------|
| 船水 英希 | べき則強度照射された散乱体によるスペックルのフラクタル的諸特性 | 魚住 純 |
|-------|---------------------------------|------|

2004年3月修了者

論文題目

指導教授

建設工学専攻

| | | |
|-------|-------------------------------------|-------|
| 赤泊 和幸 | 公共投資の経年的シナリオと橋梁健全度の推移に関する研究 | 杉本 博之 |
| 植木 基晴 | ウェーブレット解析による軌道狂いが列車動揺に与える影響評価に関する研究 | 上浦 正樹 |
| 上畑 一樹 | 人工地盤を用いた小型 FWD による地盤の剛性評価に関する研究 | 上浦 正樹 |
| 大井 元揮 | 満足度調査による流雪溝の利用者意識に関する研究 | 上浦 正樹 |
| 亀海 貴寛 | 高強度材料を用いる RC 橋脚の最適耐震設計に関する研究 | 杉本 博之 |

| | | |
|-------|---|-------|
| 田近 裕善 | アスファルト舗装路面テクスチャの違いによる凍結防止剤の散布効果に関する研究 | 武市 靖 |
| 堤 洋介 | 寒冷地空港舗装の温度特性とグルーピング工法に関する研究 | 久保 宏 |
| 名畑 信宏 | 統合化システムによる鋼橋の最適耐震設計と RBF の応用に関する研究 | 杉本 博之 |
| 本間 裕介 | 地中熱融雪システムにおけるコンクリート舗装体の力学的挙動に関する研究 | 武市 靖 |
| 白戸 正宏 | The research on measurement accuracy of water content of fresh concrete. (フレッシュコンクリートの単位水量の測定精度に関する研究) | 杉山 雅 |
| 高岡慎一郎 | 幹線道路沿いの植樹帯の騒音と居住環境への効果に関する研究 | 佐藤 哲身 |
| 藤原 大介 | Study on コンクリートの複合パネルの曲げ耐力 (実験値と FEM を用いた計算値との比較について) | 谷 吉雄 |

2003年3月修了者

| | 論 文 題 目 | 指導教授 |
|-----------------|---|-------|
| 建設工学専攻 | | |
| 佐々木利健 | 新道路橋示方書 (H 14 改訂) に基づくコンクリート充填鋼製ラーメン橋脚の最適耐震設計に関する研究 | 杉本 博之 |
| 中野 大志 | 北海道の橋梁の LCC モデルの構築と維持管理計画に関する研究 | 杉本 博之 |
| 川口 靖範 | 地盤連成を考慮した履歴構造系の地震時エネルギー応答特性に関する研究 | 佐々木康彦 |
| 白井 良明 | 動的相互作用を考慮した構造物一杭基礎・地盤連成系の地震波伝達性状に関する研究 | 佐々木康彦 |
| 大石 浩晶 | 小型 FWD を用いた土路盤の剛性評価に関する研究 | 上浦 正樹 |
| 河本 麗夏 | ユニバーサルデザインの実現に関する基礎的研究 | 上浦 正樹 |
| 丸山 興冶 | 炭素繊維シートを曲げ補強材として用いた RC はりの曲げ耐力に関する実験的研究 | 高橋 義裕 |
| 源野 雄輔 | 明るさに着目した地下通路の快適性に関する研究 | 堂柿 栄輔 |
| 高坂 佳祐 | 北海道地方における二段タンク型貯留関数モデルによる流出解析 | 嵯峨 浩 |
| 佐々木 龍 | GIS と重回帰分析による北海道の Winter Index の設定と雪氷管理の評価に関する研究 | 武市 靖 |
| 根井 剛一 | 飽和粘性土の三軸凍上特性における拘束応力依存性および構造異方性に関する研究 | 小野 丘 |
| 毛馬内 学 | 寒冷地道路舗装の凍上被害とその対策に関する研究 | 久保 宏 |
| 一戸 哲明 | 特定非営利活動法人の「まちづくり」に関する活動実態と課題について — 北海道の特定非営利活動法人を事例として — | 米森 文嗣 |
| 電子情報工学専攻 | | |
| 加藤 大樹 | アイヌ語—日本語間対訳語の自動獲得における再帰チェーンリンク型学習の有効性について | 桃内 佳雄 |
| 中岡 芳彰 | 再帰チェーンリンク型学習を用いた口語的書き言葉文から敬語表現文への自動変換システム | 桃内 佳雄 |

2002年 3 月修了者

| | 論 文 題 目 | 指導教授 |
|-----------------|---------------------------------------|--------|
| 建設工学専攻 | | |
| 朝日 啓太 | 地震動による補修費用を考慮した鉄筋コンクリート構造物の最適耐震設計 | 杉本 博之 |
| 小川 直仁 | 北海道における「道の駅」の魅力度向上方策に関する研究 | 五十嵐日出夫 |
| 金岡 優樹 | 空港滑走路舗装のプリスタリング現象に関する研究 | 久保 宏 |
| 金澤 雅博 | 寒冷地における空港舗装の温度特性に関する研究 | 久保 宏 |
| 小玉 大樹 | 凍結・融解履歴を受ける飽和粘土の三軸凍上および非排水せん断特性に関する研究 | 小野 丘 |
| 小柳 俊敬 | 凍結防止剤によるコンクリート劣化に関する研究 | 久保 宏 |
| 後藤 晃 | 橋梁点検とユーザーコストを利用した北海道型簡易 BMS の提案 | 杉本 博之 |
| 平河内雄也 | デジタル画像処理による冬期路面状態の判別に関する研究 | 武市 靖 |
| 皆木 孝英 | 弾性波を用いた碎石路盤の剛性評価に関する研究 | 上浦 正樹 |
| 村上 健志 | 道路橋の耐震設計における日米比較および動的解析の有用性に関する研究 | 当麻 庄司 |
| 盛 亜也子 | AHP における相対位置評価法の提案と都市環境の評価に関する研究 | 五十嵐日出夫 |
| 米谷 一心 | 意識距離の短縮効果を考慮した歩行空間の創出に関する研究 | 五十嵐日出夫 |
| 氏家 伸孝 | 廃タイヤの弾性舗装材料への利用に関する研究 | 武市 靖 |
| 兒玉健太郎 | ウェーブレット解析を用いた鉄道の軌道狂いに関する研究 | 上浦 正樹 |
| 鈴木 康宏 | コンクリートの凍結融解作用に及ぼす乾燥・吸水の影響に関する一実験 | 杉山 雅 |
| 根本 昭宏 | 鉄道騒音の不快感に関する社会調査 | 佐藤 哲身 |
| 佐藤 勝利 | 寒冷地における住宅用換気システムの有効利用に関する基礎的研究 | 佐々木博明 |
| 電子情報工学専攻 | | |
| 大友 雄介 | アイヌ語から日本語への漸進的な機械翻訳に関する基礎的研究 | 桃内 佳雄 |
| 三船 雄都 | デジタルホログラフィを用いる電子透かし技術の研究 | 高井 信勝 |

2001年 3 月修了者

| | 論 文 題 目 | 指導教授 |
|-----------------|---|-------|
| 建設工学専攻 | | |
| 上田 真一 | 雪寒地道路舗装における設計凍結深さの算定に関する研究 | 久保 宏 |
| 斉藤 裕俊 | RC ラーメン高架橋の最適耐震補強設計及び最適耐震設計について | 杉本 博之 |
| 首藤 諭 | 北海道の橋梁のユーザーコストとライフサイクルコストにおけるユーザーコストの影響について | 杉本 博之 |
| 田川 博憲 | 積雪寒冷地における排水性舗装の熱的性状および路面凍結の検地・予測に関する研究 | 武市 靖 |
| 竹澤 晋一 | 鉄道駅における駅らしさに関する研究 | 上浦 正樹 |
| 深谷 勇氣 | 2 車線道路における短い 4 車線区間の最適設置計画について | 堂柿 栄輔 |
| 村部 剛史 | 鋼製門型ラーメン橋脚の耐震システムに関する研究 | 杉本 博之 |
| 青木 泰裕 | 寒地住宅における換気排熱利用型ヒートポンプによる暖房に関する基礎的研究 | 佐々木博明 |
| 河合 康晴 | 低温環境下におけるコンクリートの収縮性状に関する基礎的研究 | 杉山 雅 |
| 佐々木良滋 | コンクリート養生用新温熱シートの住宅基礎コンクリートへの適用研究 | 杉山 雅 |
| 林 義覚 | 寒地住宅における電気ボイラーによる温水セントラル暖房の研究 | 佐々木博明 |
| 電子情報工学専攻 | | |
| 木村 泰知 | 遺伝的アルゴリズムを用いた帰納的学習による音声対話処理手法 | 桃内 佳雄 |

清水 祐輔 多重プログラム型 Tierra の新化メカニズムに関する研究

桃内 佳雄

2000年3月修了者

論文題目

指導教授

建設工学専攻

見延 聡 山地流域の水涵養機能の比較研究

山口 甲

宮原 優 Winter Index の導入と多変量解析による道路雪氷管理の評価に関する研究

武市 靖

村上 哲美 公共施設に付属する路外駐車場の管理・運用について

堂柿 栄輔

倉 真也 軸方向圧縮力と不等端曲げモーメントを受ける梁柱部材の座屈安定照査式に関する検討

当麻 庄司

藤谷 慎 小さなまちの中心市街地活性化と TMO 活動に向けて
— 北海道5万人以下市町村を中心に —

上田 陽三

込山 亮 寒地住宅におけるホルムアルデヒドの実態と除去対策及び VOC の実態の研究

谷口 博

電子情報工学専攻

松原 雅文 文字情報縮退方式を用いた帰納的学習によるべた書き文の数字漢字変換手法に関する研究

桃内 佳雄

1999年3月修了者

論文題目

指導教授

建設工学専攻

伊藤 智明 廃棄ビニルシートの凍上対策路盤材への活用に関する研究

久保 宏

加藤 幸輝 融解履歴を受ける飽和粘性土の物性に関する基礎的研究

武市 靖

佐藤 豪 マイクロ波加熱養生によるコンクリートの早期強度判定に関する基礎的研究

杉山 雅

鈴木 聡士 Shopping Complex の都市計画論的研究

五十嵐日出夫

坪谷 康弘 遺伝的アルゴリズムによるトラス構造物の最小重量設計に関する基礎的研究

真柄 祥吾

電子情報工学専攻

五十嵐拓郎 屋内廊下環境における自律移動ロボットナビゲーション
— 自己位置確認と事前危険予測 —

深谷 健一

工藤 晃一 学習型機械翻訳手法に適用された遺伝的アルゴリズムへの制約に関する研究

桃内 佳雄

1998年3月修了者

論文題目

指導教授

建設工学専攻

上野 順也 土砂生産量の支配因子に関する研究

山口 甲

黒田 保博 道路橋の相対荷重評価に関する有義荷重の提案

当麻 庄司

佐渡 知典 古タイヤチップによる凍上対策工法への適用に関する研究

久保 宏

田中 寿明 ノーマライゼーションのための交通計画に関する研究

五十嵐日出夫

東本 靖史 考古学的見地から見た土木計画の慣性力に関する研究

五十嵐日出夫

出口 哲 室内温熱環境での PMV 評価に関する研究

谷口 博

劉 宏 濤 寒冷期に施工するマスコンクリートの強度管理方法の基礎的研究

桑原 隆司

| | | |
|-----|--|------|
| 劉 清 | 鉄筋コンクリート造矩形断面梁のねじりモーメント強度の実験値と ACI CODE 式による計算値との比較に関する研究 | 小幡 守 |
|-----|--|------|

1997年 3 月修了者

論 文 題 目

指導教授

建設工学専攻

| | | |
|-------|----------------------------------|-------|
| 片桐 章憲 | GA による被災ライフライン網の災害復旧プロセス支援に関する研究 | 杉本 博之 |
| 鈴木 巧 | 鋼道路橋の鋼重データに基づく構造的特徴の分析 | 当麻 庄司 |
| 宮下 成秀 | 顔料添加コンクリートの強度及び凍害に関する研究 | 久保 宏 |
| 柳沢 吉保 | 都心部でのタクシーの路上駐停車の現状と街路周回交通量の推定 | 堂柿 栄輔 |

電子情報工学専攻

| | | |
|-------|--|-------|
| 久保 和也 | 上半視野と下半視野における視覚認識の相違について | 山ノ井高洋 |
| 笹岡 久行 | 辞書未登録語の訳語推定手法に関する研究 | 桃内 佳雄 |
| 中嶋 康晴 | 空気流を伴う音声放射過程の特徴計測に関する研究 | 桃内 佳雄 |
| 畑 剛志 | 人工膝関節コンポーネントの多層化による頸骨の負荷軽減 — 三次元有限要素法を用いた応力解析 — | 山ノ井高洋 |
| 豊島 恒 | 計算機による 3 D 画像表現とその視覚認識 | 山ノ井高洋 |

1996年 3 月修了者

論 文 題 目

指導教授

建設工学専攻

| | | |
|-------|--|-------|
| 三田村大松 | 塑性ヒンジ解析における精度の改善に関する研究 | 当麻 庄司 |
| 森戸 和宏 | 設計荷重の決定法に関する研究 — 有義荷重設計法と道路橋活荷重モデルの作成 — | 当麻 庄司 |
| 矢部 博司 | 有限要素法による鉄筋コンクリート梁の 2 次元非線型解析に関する基礎 的研究 | 小幡 守 |

電子情報工学専攻

| | | |
|-------|--|-------|
| 池田 雅敏 | ファジイ理論におけるモデリングの研究 — 否定的感覚を考慮したファジイ投票の提案と数値実験 — | 河口 至商 |
| 越前谷 博 | 遺伝的アルゴリズムを用いた実例からの帰納的学習による機械翻訳手法 | 桃内 佳雄 |
| 蔵本 俊男 | 知的情報処理の事例研究 — ファジイ理論による多元的投票・選択支援システムについて — | 河口 至商 |
| 寺尾 智彦 | 熟練者と初級者の比較にもとづく視覚判断時の眼球運動解析 | 山ノ井高洋 |
| 山下 隆史 | 日本語文章解析システム構築のためのワークベンチの開発 | 桃内 佳雄 |

1995年 3 月修了者

論 文 題 目

指導教授

建設工学専攻

| | | |
|-------|---|-------|
| 高松 潤 | 鋼骨組構造物の設計に関する問題点とその対策 — 有効座屈長を用いない設計について — | 当麻 庄司 |
| 西端 紀次 | 鋼骨組構造物の弾塑性 2 次解析に関する研究 — 限界状態設計に適した解析法 — | 当麻 庄司 |

電子情報工学専攻

| | | |
|-------|------------------------------|-------|
| 加賀谷恭志 | 2 次元面発光アレーレーザのタルボ像に関する研究 | 高井 信勝 |
| 寺下 明広 | 強誘電体の自発分極の精密計測に関する研究 | 山下 晴康 |
| 田中 栄治 | 仮想空間表示システムの構築とその視覚実験への応用について | 山ノ井高洋 |

| | | |
|-------|--|-------|
| 瀬戸 謙介 | ヒト全下腿骨における海綿骨の影響の検討および人工膝関節コンポーネントの形状の評価 | 山ノ井高洋 |
|-------|--|-------|

1994年3月修了者

論文題目

指導教授

建設工学専攻

| | | |
|------|---|------|
| 江頭 渉 | 土木構造物の凍上対策に関する研究 — 用排水路の凍上対策に関する研究 — | 久保 宏 |
|------|---|------|

| | | |
|-------|-----------------|------|
| 丸山 浩司 | 山地河川の土砂生産に関する研究 | 山口 甲 |
|-------|-----------------|------|

| | | |
|-------|-----------------------|-------|
| 鈴木 貴幸 | 鋼骨組構造物の限界状態設計法に関する諸検討 | 当麻 庄司 |
|-------|-----------------------|-------|

電子情報工学専攻

| | | |
|-------|--|-------|
| 古澤 正三 | 頸骨関節面荷重負荷時のヒトおよびブタ全下腿骨の応力・歪について — 歪ゲージによる実験と計算機シミュレーションとの比較 — | 山ノ井高洋 |
|-------|--|-------|

| | | |
|------|---------------------------------------|-------|
| 富永 睦 | 名詞述語文からの概念学習システム — パス簡約化規則と継承の処理 — | 桃内 佳雄 |
|------|---------------------------------------|-------|

| | | |
|-------|------------------------------------|-------|
| 高橋 祐治 | 帰納的学習によるべた書き文のかな漢字変換における語の読みと表記の獲得 | 桃内 佳雄 |
|-------|------------------------------------|-------|

1993年3月修了者

論文題目

指導教授

建設工学専攻

| | | |
|-------|----------------------|-------|
| 坂西 太郎 | 社会資本の整備と都市利便に関する意識調査 | 神山 桂一 |
|-------|----------------------|-------|

| | | |
|-------|-------------------------------|-------|
| 阿部 克紀 | 建築解体工事・建設廃棄物に関する考察（札幌市を題材として） | 神山 桂一 |
|-------|-------------------------------|-------|

電子情報工学専攻

| | | |
|-------|---------------------|-------|
| 竹田美香子 | 図形と文からの概念獲得のための概念表象 | 桃内 佳雄 |
|-------|---------------------|-------|

| | | |
|-------|----------------------------|-------|
| 佐々木淳一 | 名詞述語文からの概念学習システム（比喻と継承の処理） | 桃内 佳雄 |
|-------|----------------------------|-------|

| | | |
|------|------------------------|-------|
| 渡部 聡 | 人工膝関節コンポーネント開発のための基礎研究 | 山ノ井高洋 |
|------|------------------------|-------|

| | | |
|------|---------------------|-------|
| 高柳 浩 | 視覚情報処理における眼球運動とその応用 | 山ノ井高洋 |
|------|---------------------|-------|

北海学園大学大学院工学研究科紀要「工学研究」に関する規定

(趣旨)

第1条 本大学院工学研究科は、大学院工学研究科の教育・研究を助長し、その成果を発表するため、北海学園大学大学院工学研究科紀要「工学研究」(以下、『工学研究』という)を発行する。

(発行)

第2条 『工学研究』は、毎年1回発行し、発行者は工学研究科とする。

(内容)

第3条 『工学研究』は、次の各号に該当するものを掲載する。

- 一 研究成果
 - (1) 研究解説
 - (2) 研究報告としての研究論文、研究ノート、研究資料など
 - (3) 博士(後期)課程修了者の博士論文概要および研究成果
 - (4) 修士課程修了者の修士論文概要および研究成果
 - (5) その他編集委員会が適当と認めた研究成果
- 二 活動報告
プロジェクト研究報告、産学官共同研究報告など
- 三 その他編集委員会が適当と認めたもの

(『工学研究』編集委員会)

第4条 『工学研究』を編集するため、『工学研究』編集委員会を置く

- 2 編集委員会は、大学院工学研究科長および専攻主任の4名で構成するものとする。
- 3 編集主任は、研究科長を除いた委員の中から委員の互選にもとづいて、研究科長が委嘱する。
- 4 編集委員会は、編集主任の招集によって開催する。

(編集委員会の審議事項)

第5条 編集委員会は、次の事項について審議する。

- 一 発行の形式
- 二 編集の方針
- 三 掲載論文・報告などの編集
- 四 その他『工学研究』の編集に必要な事項

(募集)

第6条 編集委員会は、毎年度1回論文・報告などの募集を行わなければならない。

(著作権)

第7条 『工学研究』に掲載された研究成果の著作権(著作財産権, Copyright)は、工学研究科に帰属する。

- 2 ただし、『工学研究』に掲載された研究成果の執筆者が、この研究成果などをもとにした著作・論文集を刊行する場合、工学研究科は無条件でこれを認める。この場合、執筆者は工学研究科に対して許可を求める必要はないものとする。

付則 本規定は、平成14年4月1日から施行する

付則 本規定は、平成16年1月1日から施行する。